

令和2年度 獨協中学校 入学式に寄せて



令和2年4月6日

獨協学園理事長 吉田謙一郎

獨協学園の理事長をしています吉田です。新入生の皆さん、獨協中学校への入学おめでとうございます。ご父母の皆さまもさぞお慶びのことと思います。獨協学園を代表してお祝い申し上げます。本来なら新入生の皆さん、御父母の皆さん、そして教職員の皆さんの前で来賓の一人として直接お祝いの言葉を申し上げるところですが、新型コロナウイルスの感染の影響を受け紙面での挨拶となりました。

さて今年は暖冬の影響で、東京の桜の開花が早く、校門の桜も散ってしまうのではないかと心配しましたが、どうにか持ちこたえて、皆さんの入学を祝っています。君たちは目白の高台でこれから6年間を過ごすことになります。この間に君たちは心身ともに大きく成長し、次の日本を担う人材に育っていくのです。

ここで皆さんに獨協学園の話をしたと思います。獨協学園のルーツ(みなもと)は1883年(明治16年)、今から137年前に開校した獨逸学協会学校です。明治維新で江戸幕府が終り、明治新政府が誕生しましたが、開国した日本は西欧の国々に追いつこうと色々な試みをしました。どの国を手本としようかと考え、西欧の中からのドイツを選びました。ドイツの優れた文化や制度を手本として、それを日本に取り入れることにしました。そのために獨逸学協会学校が開校したのです。初代の校長先生は西周といいます。日本で初めての西欧型の哲学者です。当時の日本になかった言葉、哲学(philosophy)、権利(right)、芸術(art)、概念(concept)などの日本語を作った先生です。2代目の校長先生は後に日露戦争の時の総理大臣となった桂太郎です。獨逸学協会学校は当初、法制度(法律を作ること)を専門とする学校でしたが、明治憲法が制定された後は医学の道に進むものが多くを占めるようになり、大正時代から昭和初期の著名な医学者を世に送り出した中学校となりました。現在も本学から多くの卒業生が医学部に進学しています。戦後になり、1947年に獨協学園が創られ天野貞祐先生が獨逸学協会学校を、今の獨協中学高等学校へと名前を変えました。そして1964年に草加市にある獨協大学が開校され、1973年には栃木県にある獨協医科大学が、1987年には姫路市にある姫路獨協大学が開校されています。また皆さんの兄弟校である獨協埼玉中学高等学校は高校が1980年に、中学校は2001年に開校しています。また獨協医科大学では2つの看護専門学校を有しています。獨協学園は3つの大学と2つの中学高等学校、そして2つの専門学校からなる大きな学園です。その事業規模

は全国 700 校以上を数える私立の学校法人の中で 8 番目の大きさになっています。君たちは驚くかもしれませんが、早稲田大学や明治大学より大きい学校法人です。

ここで入学したばかりの君たちに話しておきたいことがあります。

第1に誰とも挨拶を交わし仲良くすること、そして勉強や運動に励み、心身を鍛えることです。物事が上手くいかず、失敗したり、悩んだりすることもあるでしょう。その時は先生方に相談して下さい。皆さんを惜しみなく助けてくれます。いじめはいけません。仲間はずれにすることもいけません。

第2に本を読む習慣をつけることです。本を読むことで君たちは新しい知識を得ることができます。本を読むことで、本の上で様々な人々と知り合うことができ、その結果、君たちの考えが大きく広がります。マンガではなく文章を読むことが大事です。文章を読むことで想像力が養われ、それが発想力に繋がっていくからです。

第3に将来を見つめる幅広い視野を得て欲しいということです。常に社会への関心を持ち、世の中の動きを知り、日本で何が起きているのか、また世界で何が起きているのかに関心を持つということです。そうすることにより、自分が将来どういう人間になりたいのか、将来何をしたら良いのか、そういうものが自然と湧き、自分の進む方向が決まってきます。

さてご父母の皆さまに対して申しておきたいことがあります。お子さん達はこれからの6年間、心身共に成長する時期です。一方で思春期という精神的にも肉体的にも不安定な時期でもあり、また反抗期でもあります。しかし高校も高学年になる頃には、落ち着いてきてしっかりと将来を展望するようになります。この様なことを念頭において、子供達を見つめてやって下さい。同時に自制心を植え付けるのもこの時期です。お子さんが、自由というものには一定の規律の下にあるのだということを感じる時期でもあります。学校と一緒に、お子さんたちの健全な心身を育てていきましょう。

最後に、今日入学された皆さんは、この素晴らしい環境と渡邊校長先生をはじめとする優秀な先生方の下で、6年間を皆仲良く過ごし、しっかり勉強とクラブ活動に励み、学生生活を楽しく希望する大学へ進学して下さい。本日はおめでとうございます。これを以って理事長の挨拶と致します。